

報道関係各位

令和 7 年 7 月 30 日

<受賞>

久留米工業大学の AI 教育プログラムが『第 27 回九州工学教育協会賞』を受賞
8 月 8 日には「成果発表会」を開催

久留米工業大学の小田まり子教授らのグループが、「第 27 回九州工学教育協会賞」を受賞しました。

この AI 教育プログラムは、今年 3 月にも、第 29 回日本工学教育賞（業績部門）を受賞するなど、これまでも全国的な賞を複数受賞しており、高い評価を受けております。

また、この AI 教育プログラムの「成果発表会」を 8 月 8 日（金）に行います。

是非、ご取材賜りますようお願い申し上げます。

【工学教育賞について】

九州・沖縄地方の高等教育機関を対象とし、工学教育分野における新たな教育方法や手法の提案・実践を通じて、その発展に大きく貢献した個人または団体を表彰する賞。

■ 受賞タイトル：

産学連携 PBL（Project Baed Learning）を核とした地域課題解決型 AI 教育プログラム

■ 受賞者：

小田 まり子（久留米工業大学 学長補佐、AI 応用研究所所長・教授）

河野 央（久留米工業大学 学長補佐、工学部情報ネットワーク工学科 教授）

リー・リチャード（久留米工業大学 工学部共通教育科 准教授）

春田 大河（久留米工業大学 大学院工学研究科電子情報システム工学専攻 特任助教）

八坂 亮祐（久留米工業大学 教育研究コーディネーター）

【AI 教育プログラム『地域課題解決型 AI 教育プログラム（PBL）』について】

学生が企業の課題を AI を使って、企業の方たちと協働しながら解決を図っています。

例えば、仮想空間（メタバース）を使った不登校児の支援、きゅうりのタネを AI で選別するなど、行政、医療、福祉、教育、農業、伝統産業など、今年度は 16 の企業や自治体の課題解決に取り組んでいます。

▼6月に行われたPBL中間報告会のレポートはこちらからご覧いただけます。



8月8日の「成果発表会」の詳細については、
別添のチラシをご覧ください。

【本件に関するお問い合わせ先】

久留米工業大学 事業戦略課（大学広報担当）

TEL：0942-22-2345

E-mail：senryaku@kurume-it.ac.jp

※協定内容等の詳細なご質問については、広報担当が必要に応じて担当教員にお繋ぎします。

【久留米工業大学公式サイト】 <https://www.kurume-it.ac.jp/>

